

地域リハビリテーション支援拠点の 活用について

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室専門支援担当



地域リハビリテーションの推進

できないことを代わりにするのではなく、
できることを増やして、
いきいきと暮らし続けられるように・・・



座る・立つ・歩く等がで
きるように訓練する。

食事・排せつ・着
替え・入浴等がで
きるように、本人
への働きかけと
環境調整をする。



機能回復訓練

日常生活支援

医師
看護師

歯科医師
歯科衛生士

栄養士

介護福祉士
ホームヘルパー

リハビリ
専門職

家族
ボランティア

高齢者施設等



薬剤師

社会参加支援

地域の中に生きが
い・役割をもって生
活できるような居
場所と出番づくり
を支援する。

ケアマネジャー
相談支援専門員

地域包括支援
センター

区役所

生活活動支援

掃除・洗濯・料理・
外出等ができるよ
うに、働きかけと環
境調整をする。



- (1) 川崎協同病院
- (2) 総合川崎臨港病院
- (3) 介護老人保健施設千の風・川崎
- (4) 介護老人保健施設たかつ
- (5) 介護老人保健施設ゆい
- (6) 介護老人保健施設樹の丘
- (7) 老人保健施設レストア川崎
- (8) 介護老人保健施設よみうりランドケアセンター
- (9) 介護老人保健施設虹が丘リハビリケアセンター
- (10) たま日吉台病院
- (11) 麻生リハビリ総合病院



地域リハビリテーション支援拠点のご案内

(令和6年6月10日発行)

(川崎市委託事業)

事業概要

ケアマネジャー等からの相談に応じ、リハビリ専門職がサービスに関する調整等を支援します。

支援方法

○利用者宅への訪問 ○カンファレンスへの同席 ○事業所等への訪問

利用手続き

1. 地域リハビリテーション支援・申込書を記入し、FAXやメールで送信
(お申込前にお電話でのご相談もお受けしています)
2. お電話により、相談内容の詳細を伺った上で、訪問・カンファレンス等の日程を調整
3. リハビリ専門職が相談に応じながら助言・提案

利用料無料

契約手続き不要

支援内容(例)

以下に関する相談への助言・提案 (概ね3か月程度支援します)

- 身体・認知機能や生活環境 ○医療面
- 介護サービス・ケアの方法 ○福祉用具・住宅改修

たとえばこんな時・・・



ケアマネジャー・地域包括支援センター

腰痛のため外出が減ってきていて、このままでは心配。
デイサービスなどどの程度の活動なら問題がないか…

歩行が不安定になって転倒することが増えている。
どんな福祉用具が必要か…

退院されて、前よりも体が動かず介護量が増えている。
ヘルパーの負担を減らすにはどうすべきか…

地域リハビリテーション支援拠点

お体の状態を確認して、痛みの少ない姿勢や
無理ない範囲の活動などを提案します。

家の中で転倒しないようにする工夫や
手すり、歩行器などのご相談にのります。

介助する際に、ヘルパーが気を付けると
よいポイントについて助言します。

上記に限らず、施設などの介護事業者や医療機関の方からのご相談もお受けしています。
まずはお気軽にご相談ください。
(申込・問合せ先は裏面)



ケアマネジメント支援の流れ

地域リハビリテーション支援・申込書
(様式1) ※1 をケアマネジャー等から地
域リハビリテーション支援拠点に送付
(FAX又はメール)

※電話等で事前にご相談の上、様式1を送付して
いただくことも可能です。

訪問・カンファレンスの日程を調整

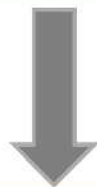
※訪問・カンファレンスへの同席を行う場合に実施
(相談内容によって、訪問・カンファレンスに同席せず、
電話等で回答する場合があります)

※1 地域リハビリテーション支援・申込書(様式1)

地域リハビリテーション支援拠点 宛		様式1
地域リハビリテーション支援・申込書		
申込者名・職名	記入口	
施設・事業所名称		
施設・事業所種別	☐ 居宅介護支援事業所 ☐ 地域包括支援センター ☐ 介護施設・事業者 ☐ その他()	
所在地	〒	
TEL/FAX		
対象者の概要 ※対象者の氏名・住所の首地・マンション名など個人を特定する情報は記載しないでください。		
居住区・町名	区 性別	
年齢		
要介護認定	(要支援) (要介護)	
障害者手帳	(種別・等級) (種別・等級)	
生活保護		
治療中又は主たる疾病	(病名)	
支援希望内容(複数可)		
☐ 身体・認知機能や生活環境の相談 ☐ 医療に関する助言 ☐ 介護サービス・ケアの方法に関する助言 ☐ 福祉用具・住宅改修に関する助言 ☐ その他()		
相談内容(困っていること)		
★介護者の有無 (本人との関係)		
日程調整	折り返しのお電話の希望日・時間	
	(1) 月 日() 時 分頃	
	(2) 月 日() 時 分頃	
	★お電話にて、生活や住まいの状況をお伺いします。	
訪問・カンファレンス等の希望日・時間		
(1) 月 日() 時 分頃		
(2) 月 日() 時 分頃		
支援番号	〇〇(拠点番号)ー〇〇〇(対象者番号) ※支援拠点が記入します。	

川崎市ホームページからダウンロードできます。

地域リハビリテーション支援拠点が、
訪問やカンファレンスに同席



地域リハビリテーション支援・提供書
（様式2）※2を地域リハビリテーション
支援拠点が作成し、ケアマネジャー等に
提供



フォローアップ

※フォローアップの期間は概ね3か月です。

※2 地域リハビリテーション支援・提供書（様式2）

様式2

地域リハビリテーション支援・提供書

記入口	
支援番号	〇〇(拠点番号)ー〇〇〇(対象者番号)ー 〇〇(提供書番号)
申込者名・職名職種	
施設・事業所名称	0
訪問日時	場所
その他の支援日時	方法・場所 ()
参加者・同席者等	
支援内容	
今後の予定	
担当支援拠点	
担当コーディネーター	
連絡先(TEL/FAX)	



地域リハビリテーション支援拠点と連携した際、加算を算定できる場合があります。

○介護予防ケアマネジメント費 地域リハビリテーション連携加算

居宅介護支援事業所と地域包括支援センターが算定可能

単位数: 150単位(地域包括支援センター)

120単位(居宅介護支援事業所)

○生活機能向上連携加算

介護サービス事業所(介護予防訪問サービス、介護予防短時間通所サービス、介護予防通所サービス、居宅介護サービス事業所)が算定可能

単位数: 100～350単位



事例 1



事例タイトル：変形性膝関節症のため歩行に不安のある独居高齢者

相談者：ケアマネジャー

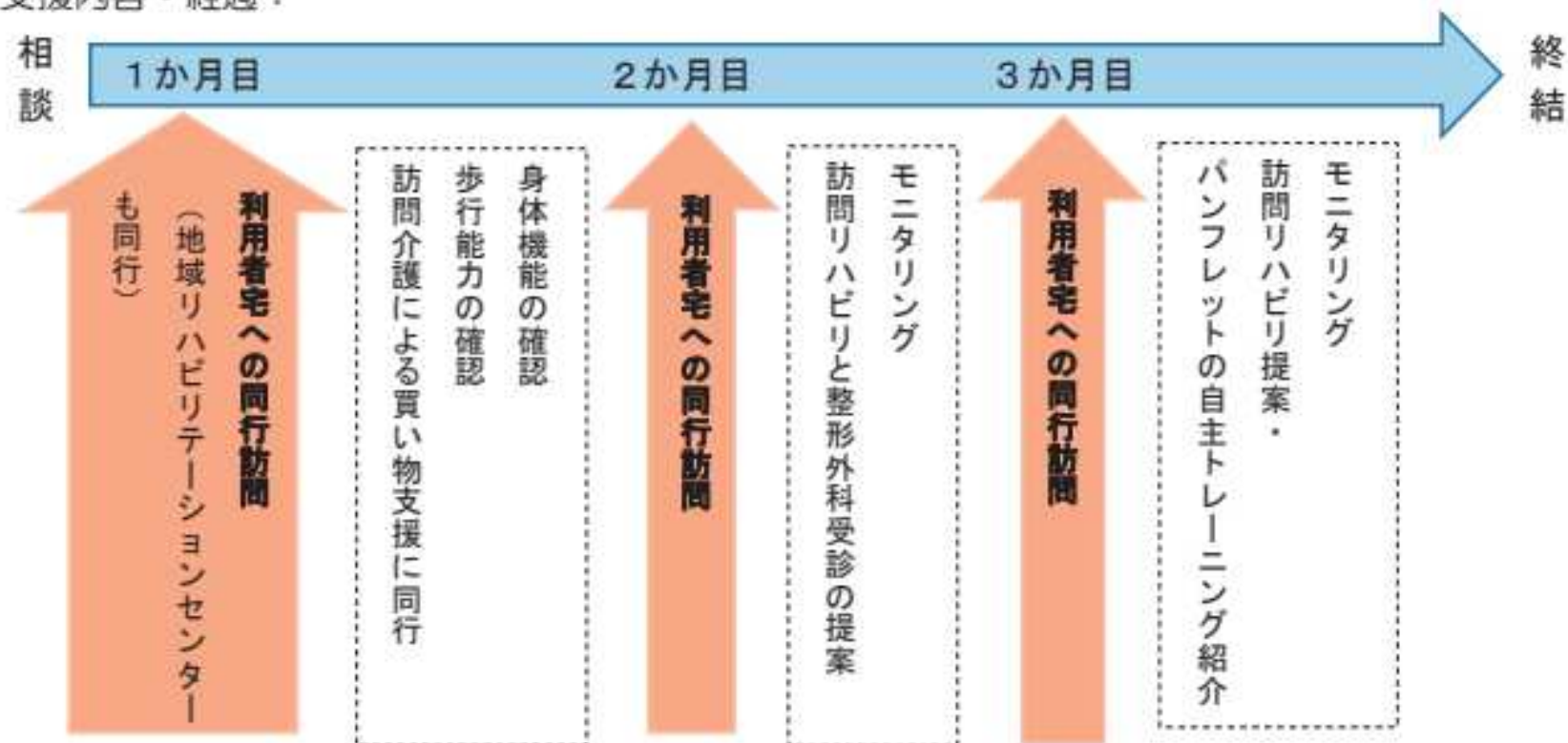
事例概要：80代女性 要介護2

訪問診療と訪問介護、配食サービスを利用。下肢体幹の変形によって布団からの立ち上がりにも困難さがあり、階段は後ろ向きで降り、庭は市販の杖をついて歩いている。

相談内容：歩行が安定せずこのままでいいのか不安です。歩行の状態や身体機能について助言をしてもらいたい。



支援内容・経過：



- ・変形性膝関節症が重症化しており、痛みや変形がさらに進行する可能性がありました。
- ・ご本人には、整形外科の受診や訪問リハビリの導入をお勧めしましたが、消極的な様子だったので、変形性膝関節症の一般的なパンフレットを渡しながら、生活上の留意点や自主トレーニングの方法を紹介しました。
- ・ケアマネジャーには、姿勢の傾向や動作能力の予後予測を説明し、4点杖のレンタルを提案しました。

事例2



事例タイトル：退院後の生活支援が必要な認知症高齢者

相談者：地域包括支援センター

事例概要：80代女性 要介護1（区分変更中）

自宅で転倒し、大腿骨頸部骨折により入院している。

歩行器を使用すれば歩行安定しているが、認知機能の低下により、歩行器を忘れてしまうことがある。

娘と同居しているが、娘は就労しており、日中は一人になる。

相談内容：転倒による骨折で入院していますが、認知症の進行も見られます。退院後の生活やサービスについて、助言をお願いしたい。



支援内容・経過：



- ・退院前カンファレンスに出席し、ご本人の状況を共有するとともに、退院に向けた対応を相談しました。
- ・自宅を訪問して、手すりや歩行器の使用を検討するとともに、ご本人への適性や実際の歩行動作を確認しました。また、在宅生活を継続するための利用するサービスの相談、検討をしました。
- ・サービス担当者会議に出席し、訪問介護とデイケアの担当者に対して、ケアの目標や方法を助言しました。



地域リハビリテーション支援拠点に関するホームページ

●川崎市ホームページ(<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000130785.html>)



川崎市トップページ → くらし・総合 → 高齢者福祉・介護 → 地域包括ケアシステムの構築に向けて
→ 川崎市地域リハビリテーション支援拠点のご案内

地域リハビリテーション支援拠点

検索

